



令和4年5月1日現在	
総世帯数	1,373世帯
総人口	2,447人
男	1,163人
女	1,284人

我が町のこと

写真は語る

梅ヶ枝町会 川上 明彦

欧州で大変なことが起きて
いるさなか、正直こんな能天
気なことを書いていて良いの
かという後ろめたさがある。
それはさて置き、少しのあ
いだ、我が町の回顧をしてみ
たいと思う。

梅ヶ枝町は、第一地
区の東端に位置し、第
三地区と境をなしてい
る。昔は、校区が筑摩
小学校、鎌田中学校で
あったが、昭和26年か
ら小学校は源池に、少
し遅れて中学校は清水
にそれぞれ代わり、現
在に至っている。

当町会は、第一地区
の中心地から離れてい
るためか、インフラの
整備はかなり遅れてい
た。現在錦町では大正
時代に埋設された水道
管の取り替え工事をして
いるが、それに比べ、



昭和28年8月 梅ヶ枝町PTAレクリエーション 於：牡丹の湯

我が家の前の通りなどは、水
道管の埋設も舗装工事がなさ
れたのも昭和36年頃のことと
記憶している。

早くから水道が引かれてい
る所もあったが、多くは共同
使用であり、井戸もまた同じ
で、「井戸端会議」なるもの
は日常茶飯事のことであっ
た。

さて少子化が言われて久し
いが、昔は至る所で子どもた
ちの遊び声がしていた。

また、今のように自家用車
で家族が出掛ける時代ではな
かったので、この子どもも
遠出をする機会は少なく、町
内会主催の親子揃ってのバス
による遠足を楽しみにしてい
た。

古いアルバムの中から一枚
の集合写真が出てきたので、
添付することにした。この写
真で実に子どもの数が多かつ
たことがお判りになるであ
ろう。

山上憶良ではないが、「…
まされる宝子にしかめやも」
子どもの声や遊んでいる姿
を見ると何故か「ほっと」す
るこの頃である。

フラダンスと私

中条東第二町会

西 弘子

フラダンスに出会ったのは
今から十数年程前に遡りま
す。

第一地区公民館で開かれた
フラダンスの体験講座に参加
したことがきっかけでした。
数回の体験では物足りず、当
時勤務していた福祉ひろばで
講座を立ち上げました。

講師をお願いすると謝
礼が発生します。何とか
お金をかけずにしたい
と、当時、他地区で活躍
されていたコーディネー
ターさんをお願いして何
度か指導していただきま
した。その後は自分たち
の力でやろうと、DVD
を見ながら行ってきまし
た。毎年恒例の文化祭ス
テージ発表を目標に年4
〜5曲をマスターしてい
ますが、この2年は新型
コロナ感染拡大を受け、
文化祭も中止となってい
ます。

フラダンスには大きく
分けて2種類あります。
ハワイの古典的な『カヒ
コ』と現代風にアレンジした
『アウアナ』。今、私達は自由
に気軽に踊れる現代風が中心
です。ハワイ語や英語の曲だ
けでは観てくださった方も踊
る側も言葉の表現が難しいた
め、日本語の曲を交えていま
す。

フラダンスと聞くと、腰を
振る踊りと思っっている方も多
いと思いますが、ここでは基
本について説明します。

フラダンスは練習着として
ハウスコートという色鮮や
かなスカートを身に着けま



す。上半身は動かさず腰を落
とし、少し膝を曲げた体勢を
とってステップを踏みます。
このときの体重移動が重要と
なります。次はハンドモー
ションです。手話のように手
の動きで波・太陽・花・雨等
を表現します。そして最も大
切なのが笑顔です。今はマス
ク生活なので、笑顔も見られ
ず残念です。

現在はサークルとして月2
回活動中です。年齢は重ねて
もフラダンスだけは続けてい
きたいと思っています。

ご挨拶



第二地区
町会連合会長
青柳 孝明

令和3年度も第二地区関連の諸行事にご協力をいただき大変ありがとうございました。

新年度を迎え、コロナ感染問題の推移が気になるのですが、改めまして今年度も微力ながら事業展開に努力をして参りたいと思います。

新任公民館主事挨拶



第二地区公民館
公民館主事
栗田 幸信

4月の人事異動により、文化財課から参りました。

これまで三つの地区公民館で主事を務めました。中心市街地の地区公民館は初めてです。それぞれの地区にその地区の歴史に裏打ちされた特色があったように、第一地区には他所にはない個性があるように感じています。それらをみなさまから学びながら公民館活動のお手伝いをさせていただきます。

令和4年度

町会役員

(◎会長 ○同副)

町会長	南源地 北源地 梅ヶ枝町 長沢町 錦町 栄町 常盤町 中条東第1 中条東第2 中条東第3 中条東第4 向島	◎三村 隆彦 筒井 完次 川上 明彦 ○太田 賀夫 ◎青柳 孝明 大久保庸夫 田口 康夫 原 喜一郎 岩佐 仁 乾 康弘 上兼 誠市 上條 一茂 瀬原田久隆 丸山 悦雄 曾根原清司
-----	--	--

新町会長紹介



南源地
三村 隆彦



栄町
大久保 庸夫

飯田町1丁目	小林 隆志
飯田町2丁目	村上 重義
小池町	碓屋 公章

町内公民館長

南源地	茅野 幸隆
北源地	○大野 貴由
梅ヶ枝町	清沢 庸光
長沢町	小林寿美子
錦町	下林 清次
栄町	瀧沢 吉孝
常盤町	○市川 英夫
中条東第1	武井 一幸
中条東第2	松宗佳代子
中条東第3	飯田 章子
中条東第4	小笠原利恵
向島	永田 洋子
宮村町1丁目	深澤 正篤
宮村町2丁目	小林 敬司
天神南小池町	横山 和明
飯田町1丁目	林 真
飯田町2丁目	村上 圭子
小池町	◎鴻田 益孝

福祉ひろば事業推進協議会

会長	太田 賀夫
副会長	松田 妙子
会計	小林 純子 上條 一茂

公民館五部門委員

(運営委員、館報編集委員、図書視聴覚委員、体育委員、文化委員)
次号でお知らせします。

第二地区職員紹介

4月からの地域づくりセンター・福祉ひろば・公民館の職員体制です。また、第一地区には、生活支援コーディネーターが配置されておりますので、併せて紹介いたします。

地域づくりセンター

センター長 二木 昭彦
福祉ひろば
コーディネーター 野口恵美子
小澤麻由美

公民館

館長 早坂 義導
主事(係長) 栗田 幸信
事務員 小笠原利恵
今井 史
生活支援コーディネーター 中島 雅子



中島 雅子 (生活支援員) 小澤麻由美 (ひろば) 小笠原利恵 (公民館) 今井 史 (公民館) 野口恵美子 (ひろば) 早坂 義導 (館長) 二木 昭彦 (センター長) 栗田 幸信 (公民館)

すすき川

インターネットの普及で、PCやスマホから簡単に情報を手に入れられる情報社会。新聞テレビ等から得ていた時とは比べものにならない大量の情報を享受している。今、ロシアのウクライナ侵攻で、日々、その悲惨な惨状を目の当たりにし、私たちは平和の尊さを再認識する。一方、当のロシア国民の多くは、政府によるプロパガンダ(国家の政治宣伝)により、プーチン大統領の活動を支持している。情報により国民を簡単にコントロールできることを物語っている。では私たちはどうであろうか。情報の真偽を確かめることなく、翻弄されてはいないだろうか。誤った情報がSNSで拡散、ヘイト、誹謗中傷となり人を傷つけている。これも情報の暴走である。ところで、松本市は広報のデジタル化を構想している。ふと思う。私たちは広報や公民館報にどういった情報を求めているのだろうか。今年度から公民館報編集委員長を仰せつかった。未熟だが読者に的確な情報を読み易く提供していきたいと思う。(村上)